

第4回 幼・保・小合同研修会

日時 令和4年9月22日(木) 午後3時～午後4時40分
場所 ニコニコこども館 3階 会議室

教育講演

「質の高い教育・保育を提供するためには」
～人格形成の基礎を培う教育者・保育者とは～
大阪総合保育大学 児童保育学部
特任教授 神長 美津子 氏



講師の神長先生は、宇都宮大学教育学部附属幼稚園に長年勤務され、現在は大学で指導者育成のために教鞭を取りながら、文部科学省架け橋特別委員会の委員や幼児教育の実践の質向上に関する検討会副座長として重責を担っておられます。今回は、子ども達の人格形成の初期である極めて重要な時期に、教育者・保育者は、どのような点に留意し支援をしていけばよいのか、先生の豊富な経験をもとにご指導いただくとともに、実践のヒントを学びました。

※参加者→幼稚園・保育所(園)・認定こども園・

小学校関係者等 82名(内オンライン研修57名)



【講演の主な内容】

- 質の高い教育・保育の実践のために「主体的・対話的で深い学び」の視点から教育・保育を考える
- 教育者・保育者に求められる実践力



学校教育において育成すべき資質・能力と主体的・対話的で深い学びの関係

■主体的・対話的で深い学びを支える環境・保育者の援助

(5歳児の活動から)

- ・子どもの興味や関心、疑問や課題を引き出す環境・状況づくり
- ・ともに伝え合い、認め合う仲間存在
- ・探求する子どもを支える保育者の関わり

■教育者・保育者に求められる実践力

- ・子ども理解を深める 教師(保育士)の基本的姿勢
- ・環境をデザインし、実践する力
- ・子ども一人一人の活動にそった援助 教師(保育士)の多様な役割
- ・子ども同士の関係を深める 個と集団をつなぐ

【アンケートから～参加者の声～】

○遊びの積み重ねが大事であることを学びました。子どもたちの「なぜ?」「どうして?」「おもしろい!」等、小さな気づきに寄り添い、成長の力になれるような保育士でありたいと思います。(保育所:女性)

○就学前の子ども達がどのような遊びや育ちをしているか具体的に知る事ができ、質の高い幼児教育を小学校での姿に反映していかなければならないと痛感しました。(小学校:男性)